

2023年10月 いわき大王製紙(株) 産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

1. 総括 9月測定で4号焼却炉(5号ホイラー)にてダイオキシン類濃度の基準値超過があったため、10月のばいじん除去後の測定を実施。結果が出るまで稼働を停止していたが、11月24日に基準値内であることを確認したため、27日に稼働を再開した。

2. 維持管理の状況に関する情報

運転状況	2号焼却炉(3号ホイラー)		3号焼却炉(4号ホイラー)		4号焼却炉(5号ホイラー)	
	稼働		休止		稼働	
1) 廃棄物の種類と処分量						
(1) 産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	汚泥	廃プラスチック類 紙くず	汚泥	廃プラスチック類 紙くず
(2) 処分量 (トン/月)	2,450	0	—	—	1,873	552

2) 産業廃棄物処理施設での維持管理状況

(1) 燃焼ガス温度、集じん機前燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度

① 燃焼ガス温度 (°C)	911	—	1005
(維持管理基準) (°C)	(800以上)	(800以上)	(800以上)
② 集じん機前燃焼ガス温度 (°C)	158	—	184
(維持管理基準) (°C)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)
③ 排ガス中の一酸化炭素濃度 (ppm)	12.29	—	13.41
(維持管理基準) (ppm)	(100以下)	(100以下)	(100以下)
④ 排ガスを採取した位置	別図2	別図3	別図4
⑤ 測定結果が得られた日	2023年11月1日	—	2023年11月1日

* 燃焼ガス温度、集じん機前燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度は、全て連続測定しており、記載している数値は、月間平均値です。なお、連続測定データの表は、弊社で閲覧可能です。

(2) 排ガス中のダイオキシン濃度

① ダイオキシン濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	0.0013	—	最大値 0.16 0.034 最小値 0.07 0.021 平均値 0.12 0.028 n数 5 2 (0.1以下)
(排出基準) (ng-TEQ/m ³ N)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)
② 排ガスの採取日	2023年6月12日	—	2023年6月13日、 9月20,21,28,29日 2023年 11月11,16日
③ 排ガスを採取した位置	別図2	別図3	別図4
④ 測定結果が得られた日	2023年8月24日	—	2023年8月24日 2023年11月24日 2023年10月31日

* ダイオキシン類濃度は、最新のデータです。採取日から測定結果が得られる日まで、約1ヶ月かかります。

(3) ばいじん除去の実施年月日

① 冷却設備	2023年5月11日 ～ 5月14日	—	2023年10月8日 ～ 10月11日
② 集じん機	2023年5月16日	—	2023年10月14日
③ 湿式スクラバー	2023年5月11日 ～ 5月20日	—	2023年10月13日

* 記載した年月日は、冷却設備、集じん機、湿式スクラバーに堆積したばいじんを除去した日を示しています。

(4) ばい煙濃度

① 硫黄酸化物(K値) (排出基準)	0.098 (6以下)	— (6以下)	0.078 (6以下)
② 窒素酸化物(濃度) (ppm) (排出基準) (ppm)	91 (250以下)	— (250以下)	97 (250以下)
③ ばいじん濃度 (g/m ³ N) (排出基準) (g/m ³ N)	0.0033 (0.04以下)	— (0.04以下)	0.0032 (0.04以下)
④ 排ガスの採取日	2023年10月17日	—	2023年10月26日
⑤ 排ガスを採取した位置	別図2	別図3	別図4
⑥ 測定結果が得られた日	2023年10月25日	—	2023年11月27日

K値は、硫黄酸化物排出量を有効煙突高さの2乗で割った値で、排出基準として大気汚染防止法で定められた数値です。硫黄酸化物排出量は、地域別に定められたK値で規制されており、K値が小さいほど規制が厳しくなります。

(5) 塩化水素濃度

① 塩化水素濃度 (mg/m ³ N) (排出基準) (mg/m ³ N)	2.8未満 (700以下)	— (700以下)	4.1未満 (700以下)
② 排ガスの採取日	2023年6月12日	—	2023年6月13日
③ 排ガスを採取した位置	別図2	別図3	別図4
④ 測定結果が得られた日	2023年7月18日	—	2023年7月18日

* 塩化水素濃度は、6ヶ月を超えない作業期間毎に1回測定します。

記載の数値は最新のデータです。採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約1ヶ月かかります。